

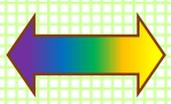
地域社会の社会的事象の特色や相互の関連について 考える力を育てる指導の工夫

—付箋紙を活用して情報を分類・整理しながら比較・関連付ける活動を通して—

特別研修員 社会 高宮昭子 (小学校教諭)

【児童の実態】

- 社会的事象の特色を考えることに意識が向いていない。
- 社会的事象の見方が一面的で、比較・関連付けて考えることが難しい。



【教師の願い】

- 社会的事象の特色や相互の関連を考える力を身に付けさせたい。
- 社会的事象と自分との関わりや地域の人々の工夫や努力に気付かせたい。

〈手立て1〉 付箋紙を活用して情報を分類・整理する活動

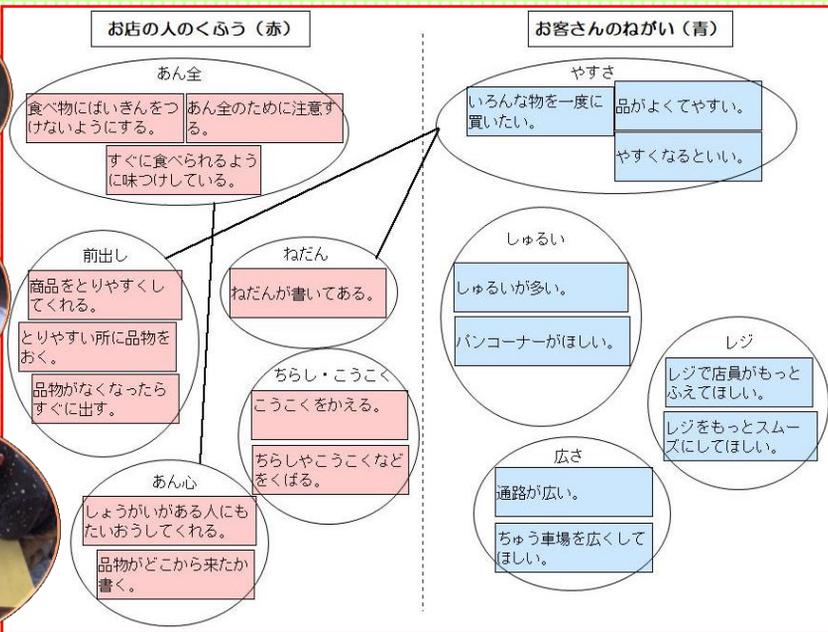
①付箋紙を貼る



②仲間分け
けをして小見出しを付ける



③似ている小見出しを線でつなぐ



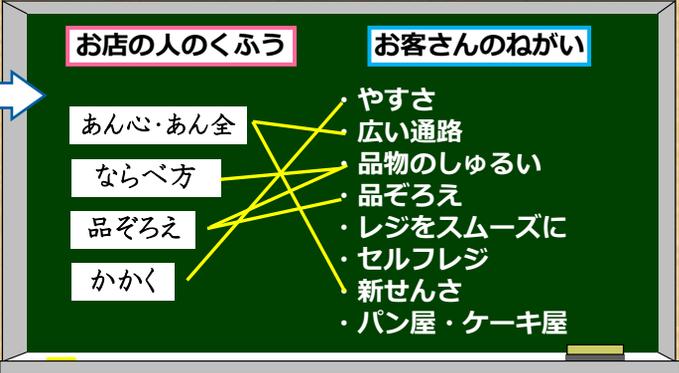
〈手立て2〉 社会的事象を比較・関連付けて考える活動

④全体で、比較・関連付けをする

線をつないで関連性を示し、共通点や相違点を明らかにする。

⑤社会的事象と自分との関わりを考える

自分を主語にした定型文を用いる。
「私は～だから ○○が好き」



私は、品物が新鮮で安全だから○○が好き。お店の人は、お客さんのためにいろいろな工夫をしていることが分かったよ。
※○○は児童が見学した地域の商店

【成果】

- グループ・全体の交流活動を通して、社会的事象の特色や相互の関連について考える力が育ってきた。
- 地域の社会的事象と自分との関わりや地域の人々の工夫について考えることができた。

【課題】

- 今後も交流場面を設定し、付箋紙を活用した分類・整理の質を高めていく。
- 比較・関連付けの活動における相違点の扱い方について考える必要がある。